



Title	編集後記 サイバーメディアフォーラム no.9
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2008, 9
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/70275">https://hdl.handle.net/11094/70275</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

先日、ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト(ACM/ICPC)のアジア地区予選（於会津大学）に、大阪大学のチームが出場したのでコーチとして参加してきました。中国、台湾、韓国のチームも交え、国内予選を勝ち抜いた俊英たちが熱戦を繰り広げました。5時間で10問を解くコンテスト時間中はコーチが口を出すことはできず、2階席から見守るのみです。1問正解するごとに各チームのブースには、色とりどりの風船が取り付けられていき、どのチームがどの問題を正解したかがお互いにすぐわかるようになっていきます。同時に、コーチ向けのワークショップも行われ、台湾やスペインにおけるeラーニング研究や実践例などが報告されました。

本誌今号の特集もeラーニングがテーマです。eラーニング・システムは、私たちが標榜するサイバーサイエンスにおける最先端の教育工学的研究対象であり、授業運営上の必須ツールとなりつつあります。今号特集を機会に、eラーニング・システムを研究開発する研究者、教育に使う教員、そして実際に授業で使用する学生さんたちの交流が進み、次世代の大学教育の支柱へと発展していくことを願ってやみません。

ICPC ロゴにも使われている風船は、若者の飛翔する想像力を象徴しているのではないのでしょうか。

皆様も軽やかに新春の風に乗る良いお年をお迎えください。

(K.T.)

### 広報委員会委員

- 小田中 紳 二 (委員長、大阪大学サイバーメディアセンター)
- 藤 堅 正 (近畿大学理学部)
- 豊 永 昌 彦 (高知大学理学部)
- 前 迫 孝 憲 (大阪大学大学院人間科学研究科)
- 養 老 真 一 (大阪大学大学院法学研究科)
- 小 郷 直 言 (大阪大学大学院経済学研究科)
- 阿 部 浩 和 (大阪大学サイバーメディアセンター)
- 清 川 清 (大阪大学サイバーメディアセンター)
- 竹 蓋 順 子 (大阪大学サイバーメディアセンター)
- 時 田 恵一郎 (大阪大学サイバーメディアセンター)
- 馬 場 健 一 (大阪大学サイバーメディアセンター)